

深夜電力利用のセントラル給湯器 **ユーリッチ**

セキスイ電気温水器

取扱説明書

いつまでも快適にお使いいただくために、使用前にお買い上げいただきました温水器の形名をおたしかめください

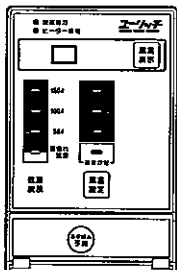
形 式	
丸 型	MS-30M88K-C・MS-37M88K-C・MS-46M88K-C
角 型	KS-37M88K-C・KS-46M88K-C



この温水器は、通電制御/
時間帯別料金対応の兼用
型です。

※このマークは温水器本体に表
示してあります。

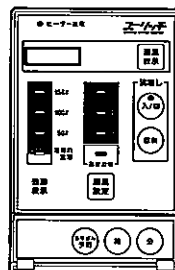
8hリモコン



(リモコンは別売)

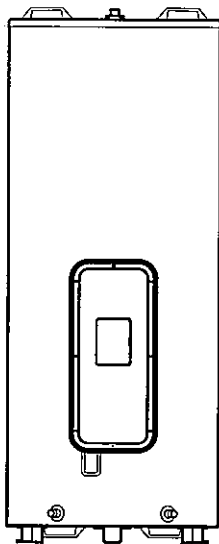
通電制御型に使用します。
リモコンなしでも使用でき
ます。

TOUリモコン

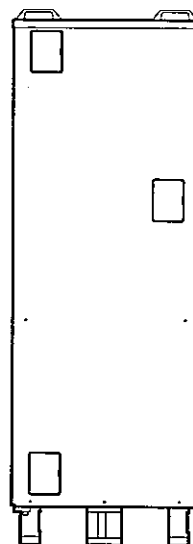


(リモコンは別売)

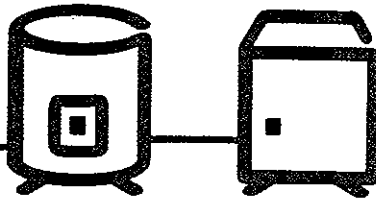
時間帯別料金対応型に使用
します。



丸 型



角 型



セキスイ電気温水器

を快適にお使いいただくために

このたびは「セキスイ電気温水器」をご購入いただきありがとうございました。

この説明書は、電気温水器の正しい取扱いかた、お手入れのしかたなどをまとめています。

快適にご使用いただくため、お使いになる前によくお読みください。また、お読みになった後は、保証書とともに見やすいところに保存してください。

お引き渡しの前に、配管、電気配線の点検および試運転は完了しています。

ご使用前につぎのことをご確認ください。

なおご不明なことがありましたら、工事店にお問い合わせください。

- 配管および弁類は保温されていますか。
- アース工事がなされていますか。
- 電源工事がなされていますか。
- リモコン工事がなされていますか。
(リモコン使用の場合)
- 保証書を購入店(工事店)からお受けとりいただけましたか。
まだの場合は、購入店(工事店)にご請求ください。

目次

1. 安全上のご注意	1	時刻合わせをします	14
2. ご注意とお願い	4	沸き増しをします	14
3. 各部の名称とはたらき	6	沸き増しの上手な使い方	16
システム各部の名称とはたらき	7	沸き増しのしくみ	16
4. 操作の手順	8	エラーモニターの表示と内容	17
5. リモコンおよび本体スイッチのはたらき	11	7. 調子がおかしいとき	18
6. リモコンおよび本体スイッチの使い方	12	8. お手入れのしかた	20
沸き上げ温度をきめます	12	9. 保証とサービスについて	21
るすばん予約の日数設定	13	10. 仕様	裏面

安全上のご注意 つぎのことは必ず守ってください。

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した警告事項・注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。



警告

この表示の欄は『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。



注意

この表示の欄は『障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

図記号の例



分解禁止

このような絵表示は、してはいけない『禁止』内容です。
左図は分解禁止を示します。



感電注意

このような絵表示は、『注意』していただく内容です。
左図は感電注意を示します。



アース工事

このような絵表示は、必ず実行していただく『強制』内容です。
左図はアース工事を示します。

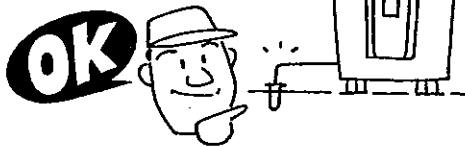
警告

アース工事がされているか確認すること。



アース工事の確認

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アースの取付けは販売店にご相談ください。



前面カバーは開けないこと。



前面カバーは開けない

感電のおそれがあります。
漏電遮断器のテストおよびリモコンや本体の切替えスイッチ以外は手を触れないでください。

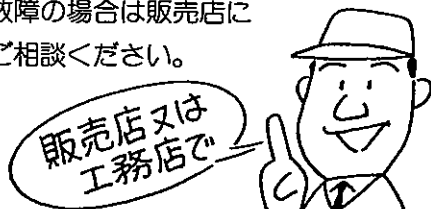


修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと。



分解禁止

修理に不備があると発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
故障の場合は販売店にご相談ください。



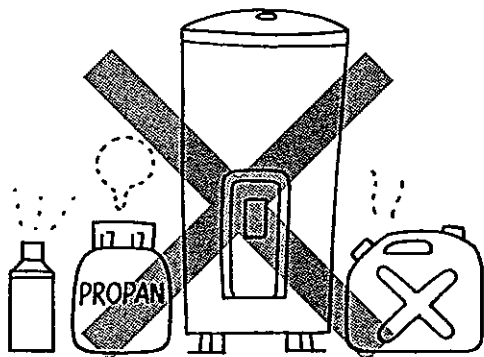
警告

温水器の近くにガス類や引火物を置かないこと。



ガス漏れなどがあった場合、電気部品のスパークで発火することがあります。

ガス類引火物は近づけない



給湯時は湯水混合水せんに手を触れないこと。

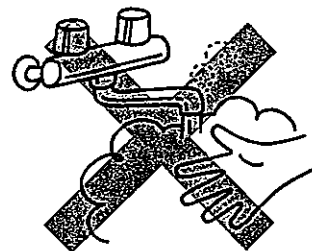


給湯時水栓にさわらない

熱湯でやけどするおそれがあります。湯水混合水せんをご使用の場合は、まず水側バルブを開き、徐々に湯側バルブを開いて湯温を調節してください。また止めるときは湯側バルブを先に閉めるほうが安全です。

特に朝の使いはじめは、湯側から空気の混ざった熱湯がでることがあります。水栓は湯水混合水せんを使用することをおすすめします。特に浴室ではサーモスタット付混合水せんなどの使用をおすすめします。

断水中にシャワーの水を使わないでください。

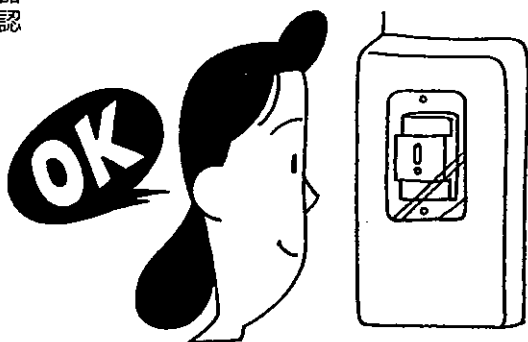


漏電遮断器の動作を確認すること。



漏電遮断器が故障のまま使用すると漏電のときに感電するおそれがあります。故障の場合は販売店にご相談ください。

漏電遮断器の動作確認



排水時は配管や排水に手を触れないこと。



熱湯注意

逃し弁点検時やタンク排水時は、配管や排水に手を触れないでください。やけどすることがあります。

注意

凍結防止対策の確認をすること。



凍結防止の確認

配管が凍結して破損するとやけどするおそれがあります。

凍結防止工事、保温工事は販売店にご相談ください。



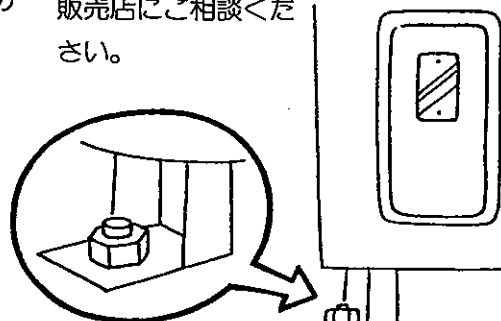
温水器の脚がアンカーボルトで固定してあるか確認すること。



脚固定の確認

地震などで本体が倒れてけがをすることがあります。

脚固定がない場合は販売店にご相談ください。



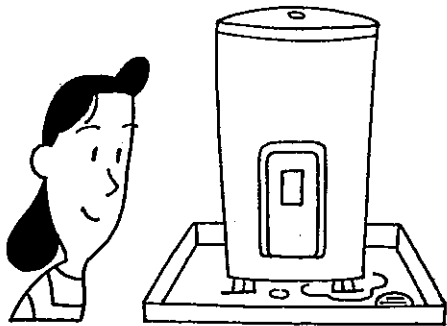
⚠ 注意

床面が防水処理・排水処理されているか確認すること。



排水処理の確認

万一水漏れが起きた場合、階下などに大きな被害をおよぼすおそれがあります。販売店にご相談ください。



通電は満水状態にしてから行なうこと。



満水で通電する

タンクに水を入れずに通電すると過熱して故障の原因となります。故障の場合は販売店にご相談ください。



そのまま飲用しないでください。



沸騰後飲用

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

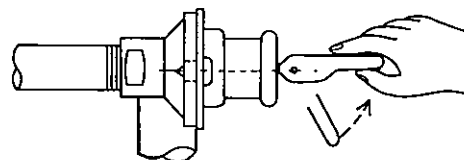
- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
 - 熱いお湯が出てくるまでの水(配管内にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

逃し弁の点検をすること。



逃し弁の点検

逃し弁の作動不良の場合配管漏れや、やけどすることがあります。故障の場合は販売店にご相談ください。(詳細は20ページのお手入れのしかたを参照してください。)

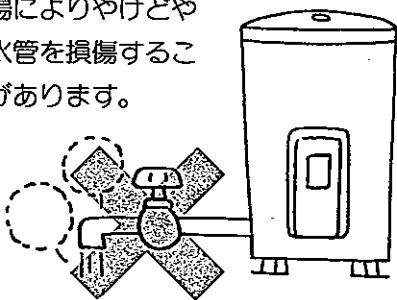


タンクの熱湯は直接排水しないこと。



熱湯排水しない

熱湯によりやけどや排水管を損傷することがあります。



1か月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの水を排水すること。



長期不使用時の処置

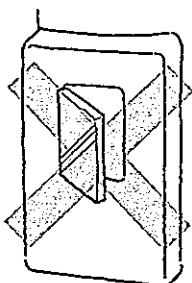
水質が変化することがあります。(詳細は4ページのご注意とお願いを参照してください。)

温水器点検窓(電源操作部)の点検カバー(操作部カバー)は閉じておくこと。



操作部のカバーは閉じる

開いていると雨やこみが入り漏電・感電の原因となります。



ご注意とお願い

1

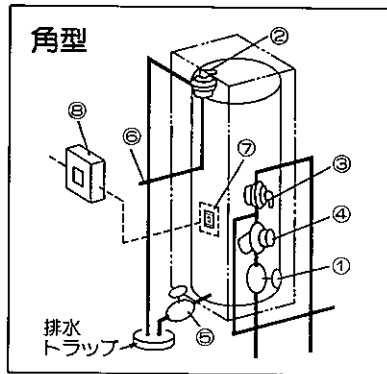
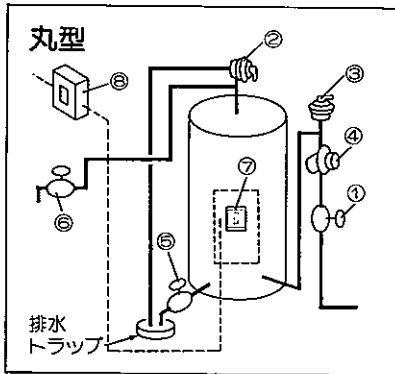
長期間ご使用にならないときは、電源を「切」にしてタンクの中の水を抜き、空にしてください。再使用のときは、タンクの中の水を入れかえてから使用してください。



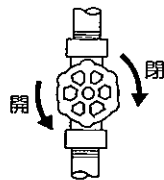
長期不使用时の注意

- 1ヶ月以内であれば、給水を止め、漏電遮断器を「切」にしてください。
- 1ヶ月以上であれば、電源を「切」にしてタンクを空にしてください。
- タンク中の水は、長期間滞留すると腐ったりすることがあります。

水抜きの手順

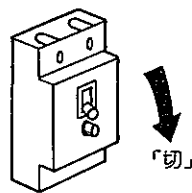


1 温水器の専用止水栓①を閉める。



2 電源を切る。

漏電遮断器⑦、配線用遮断器⑧(7ページ④、⑤、⑧)を「切」にしてください。

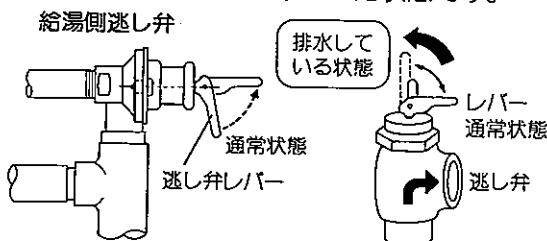


3 逃し弁②のレバーを上げる。



熱湯注意

逃し弁のレバーを立てることで、水を出したり空気を取り入れたりします。通常状態では、レバーが下がった状態です。



4 排水栓⑤を開ける。

60分程度でタンクは空になります。排水栓の先のパイプから水が出なくなったことを確認してください。

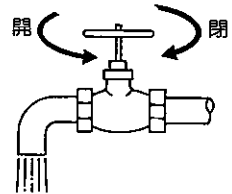


熱湯注意



熱湯排水しない

- 排水トラップから水が溢れないようにバルブの開きぐあいを調整してください。
- 排水するときは、一時浴槽に給湯し水でうすめて(低温にして)排水してください。



5 再使用するとき

逃し弁②のレバーを上げる。→止水栓①を開ける。→しばらく水を流す。→排水栓⑤を締める。→15~20分後に逃し弁②から水が出るので逃し弁のレバーを下げる。→電源を「入」にする。の手順で進めてください。



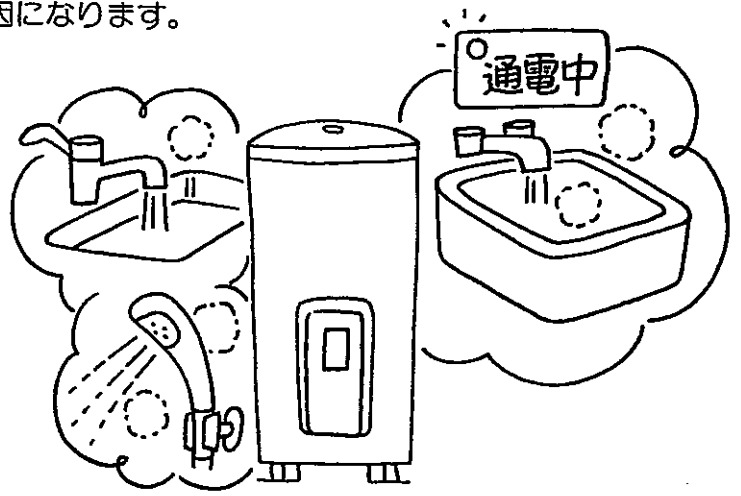
湯水で過電する

- タンクが満水になったかどうかは、湯水混合水せんの湯側から空気が抜けた後、水が出ることを確認してください。
- 電源は、漏電遮断器⑦、配線用遮断器⑧を「入」にしてください。

2

つぎのような使い方は、湯量不足の原因になります。

- 洗髪するときシャワーをながし続ける。
- 深夜電力通電中に入浴する。
- 食器洗いや洗濯などでお湯を流し続ける。
- 朝夕2回入浴する。
(毎日フロのお湯を入替える。)
- 来客の多いお宅。
- 雑用水に多量のお湯を使う。
- 間隔を開けて入浴をする。



3

万一水漏れが生じたときは、温水器の止水栓を閉じてください。その後すぐに、(株)コロナまたは工事店、サービス店へご連絡ください。また本体の底面や配管が濡れていないか点検してください。特に集合住宅での漏水は階下へ被害をおよぼすことがあります。



排水処理の
確認

4

断水中にシャワーの水を使わないでください。



熱湯注意

- 熱湯がでて、やけどのおそれがあります。

5

冬期に水道管が凍結するところでは、凍結防止対策をしてください。

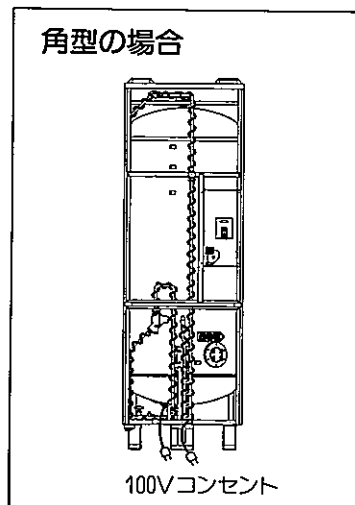
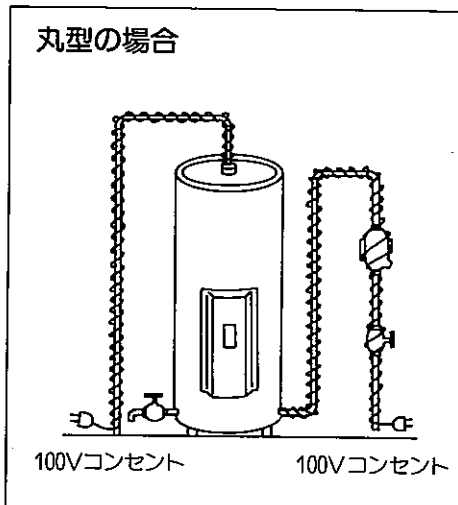


凍結防止の
確認

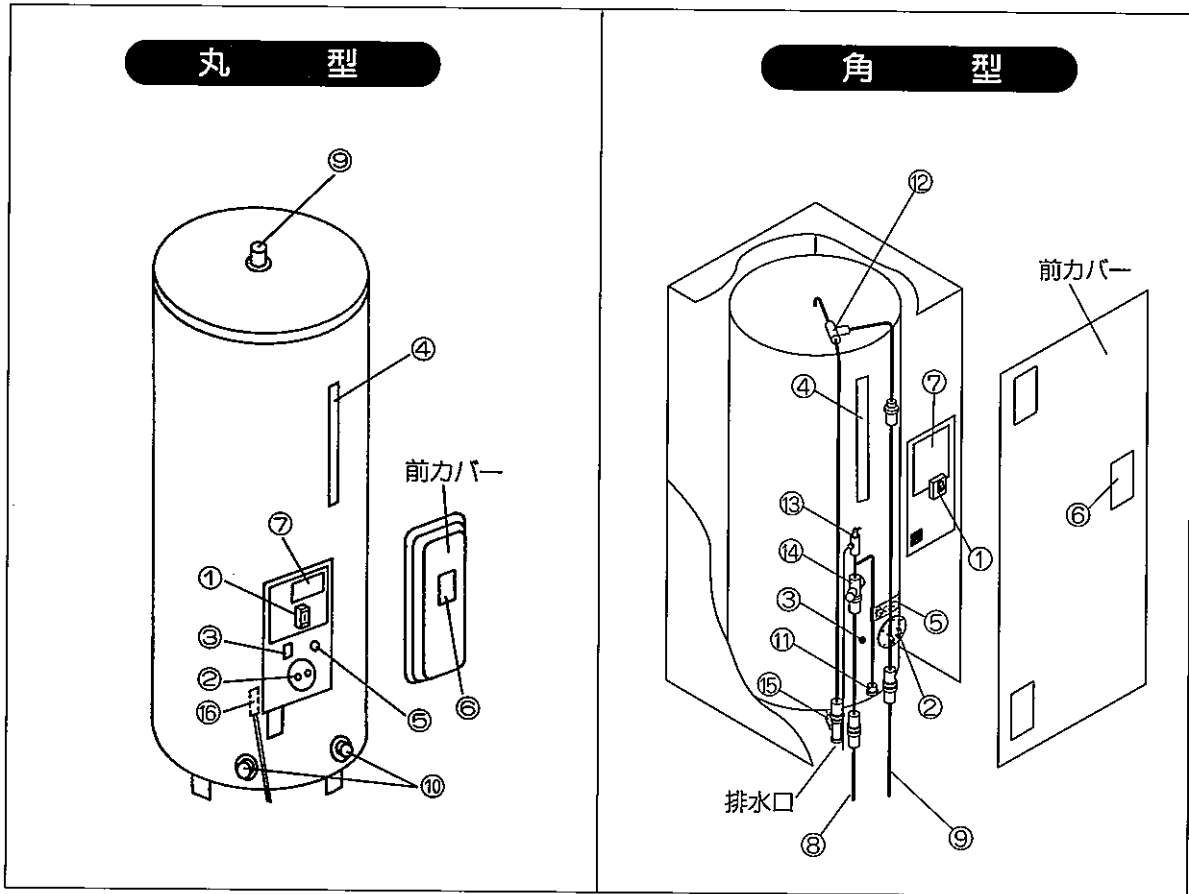
- 冬期気温が0℃以下になると配管などの凍りやすい部分の水が凍り始め0℃以下の気温が続くと凍結による体積膨張のため、減圧弁などが破壊するおそれがあります。水道管がよく凍結するところでは凍結防止ヒーターで保護する施工を販売店にご相談ください。

凍結防止工事の例

- 給水・給湯配管の凍結防止には、凍結防止ヒーターの工事を工事店に依頼してください。



各部の名称とはたらき



① 漏電遮断器

200V通電中、万一本体で漏電したとき通電を止めます。

② 加熱用ヒーター

タンクの中のお湯を沸かします。

③ 制御用センサー

水温を調べ、沸き上がり温度を検出します。

④ 残湯用センサー

タンクの残り湯を調べます。
50ℓ残湯センサーは温度表示と過昇防止用センサーとしても働きます。

⑤ 温度過昇防止器

お湯の温度が上がり過ぎるのを防ぎます。

⑥ 試験電圧電源遮断器

ここから漏電遮断器を点検します。

⑦ 電源ユニット

設定された沸き上げ温度と通電をコントロールします。

⑧ 給水口

タンクへの給水を接続します。

⑨ 給湯口

給湯管に接続し、タンクのお湯を送ります。

⑩ 給排水口

タンク内の給水口および、タンクからの排水口です。

⑪ シャワー用給水

シャワーへ水を送ります。

⑫ 給湯側逃し弁

沸き上げ時にあふれたお湯を排出します。

⑬ 給湯側逃し弁

給湯側逃し弁が故障したときなど圧力が上がり過ぎるのを防ぎます。

⑭ 減圧弁

水道圧の圧力を減らし、一定に保ちます。減圧弁にはストレーナーが内蔵されています。

⑮ 排水栓

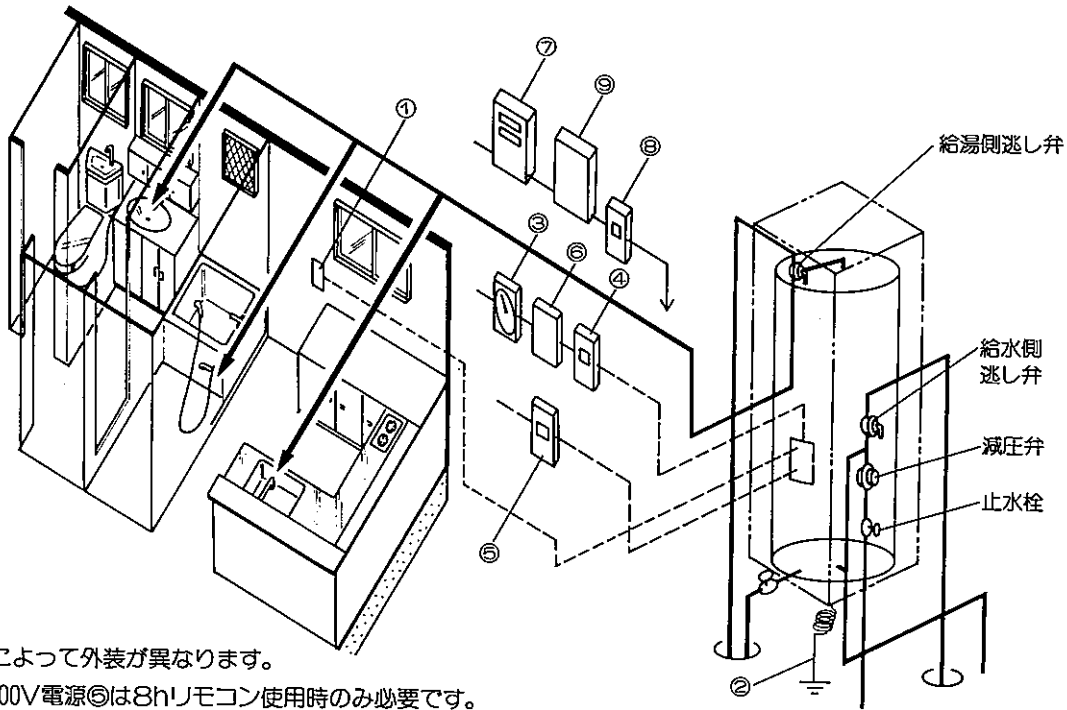
タンクの水を排水するときに開きます。

⑯ タンク側異常逃し弁

タンク内の異常圧 (3.0kgf/cm²) のとき、水を逃します。

システム各部の名称とはたらき

ご使用になる前に、システム各部の名称とそのはたらきを、しゅうぶんにご承知おきください。主要部はつぎの通りです。



- 注**
- 形式によって外装が異なります。
 - AC100V電源⑤は8hリモコン使用時のみ必要です。
 - TOUリモコン使用時はタイムスイッチなど③、④、⑥がありません。
 - 給水側逃し弁は施工によっては無い場合があります。

①リモコン

スイッチボタンを押すと沸き上げ温度を選びます。
詳細は12・13ページを参考にしてください。

②アース

万一、本体で漏電した場合地面へ逃がします。

——— 温水器外の配線は、下記により異なります ———

通電制御型 (8hリモコン使用時またはリモコンなしの場合)

③タイムスイッチ

深夜電力の通電をコントロールします。

④配線用遮断器(200V用)

200Vの通電を行ないます。

⑤配線用遮断器(100V用)

電気温水器へ100Vの通電を行ないます。
(8hリモコン使用時のみ)

⑥電力計

毎日の使用電力を計量します。

時間帯別料金対応型 (TOUリモコン使用時)

⑦2時間帯メーター

時間帯別に使用された電力量を積算します。

⑧配線用遮断器(200V用)

200Vの通電を行ないます。

⑨分電盤

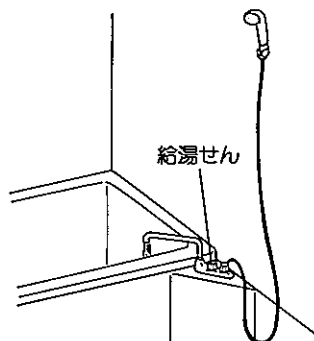
一般電灯(電灯およびコンセント)へ通電されます。

4 操作の手順

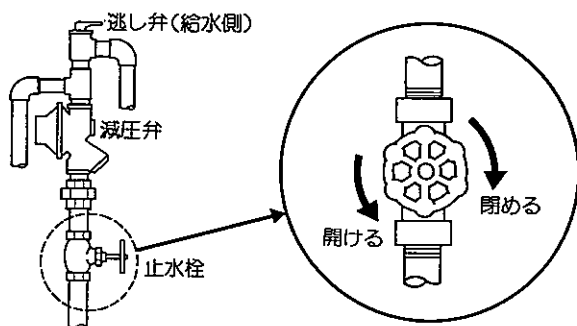
はじめてご使用になる場合、つぎの手順で操作をすすめてください。

1

温水器のタンクの中が満水かどうか確かめてください。



- 台所・洗面所・浴室のうち、どれかひとつの給湯せんを開き、水が勢いよく出てくればタンクは満水です。



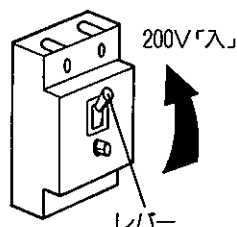
- 給湯せんを開いても水がでてこない場合は、止水栓が開いているかどうか確認してください。閉じていた場合は、開いて満水になるまで待ってください。この止水栓を開いても、配管・温水器内の空気が抜けるまで水は出ませんから、しばらく開いたままにして水が出ることを確認してください。



- 温水器内、配管内部にゴミなどが入っている場合があります。ゴミなどがなくなるまで、給湯せんを開いて水をしばらく出したままにし、閉めてください。

2

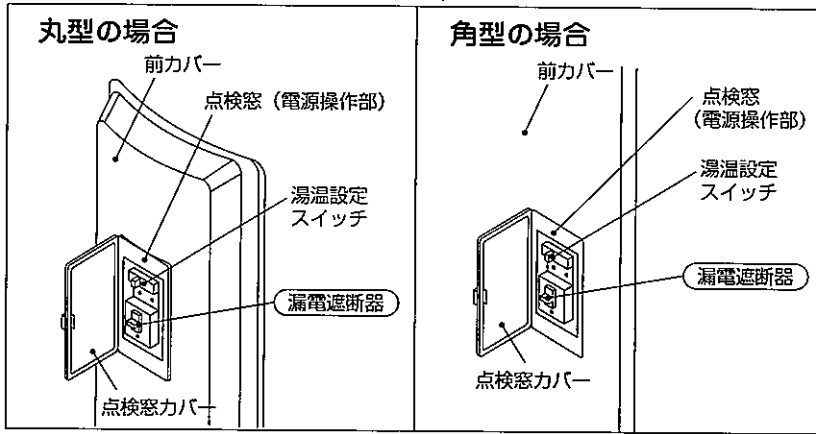
屋外か室内の分電盤に設けられている配線用遮断器200V(7ページ④または⑤)が「入」になっていることを確認してください。



- 200Vは、スイッチが「入」の状態でないとは通電しません。(湯が沸きません)

3

温水器の漏電遮断器を「入」にしてください。



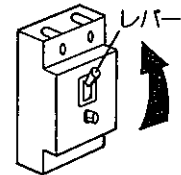
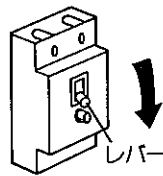
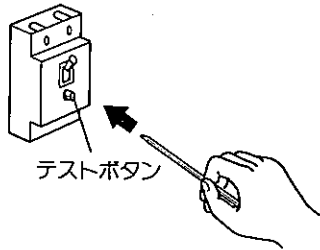
漏電遮断器のテスト手順



漏電遮断器のテストをしてください。

注 200V通電時以外は、ボタンを押してもレバーは下がりません。

- (1) テストボタンを押す。 (2) テストボタンを押して、レバーが下がれば正常です。 (3) 3回テストして正常であれば、再びレバーを上げて「入」にします。



4



前面カバーは開けない



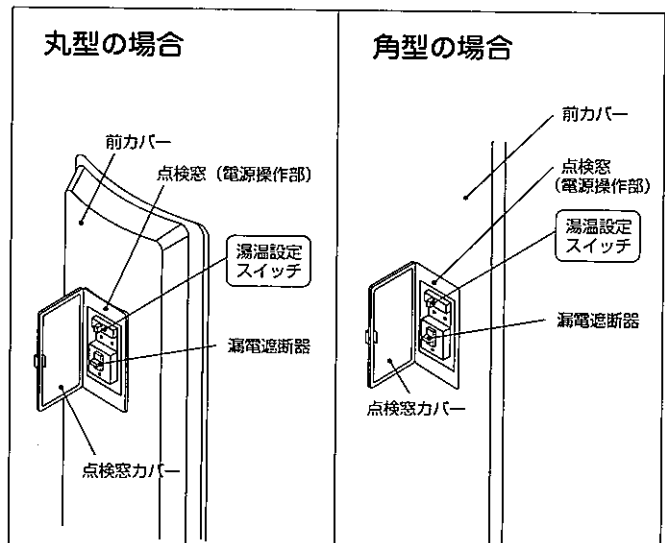
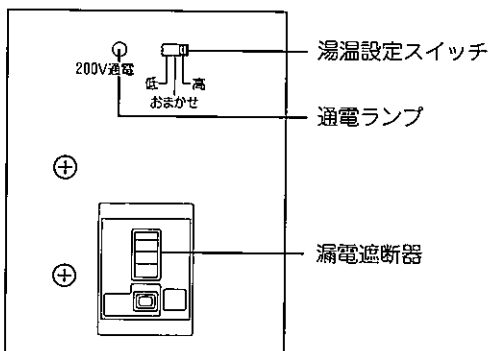
操作部のカバーは閉じる

最初は本体の点検窓(電源操作部)のところにある湯温設定スイッチを操作してください。

通電制御型リモコンなしの場合

- 本体の点検窓(電源操作部)のところにある湯温設定スイッチを(高)にしてください。
- このとき通電ランプが点灯または点滅することを確認してください。

本体スイッチ



8hリモコン・TOUリモコン使用の場合



前面カバーは開けない

- リモコンを専用ケーブルでつないでください。
- リモコンボックスの湯温設定スイッチを(高)にしてください。
- このとき深夜電力・ヒーター通電ランプ共に点灯するか確認してください。

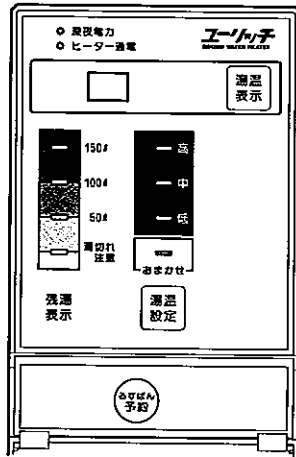
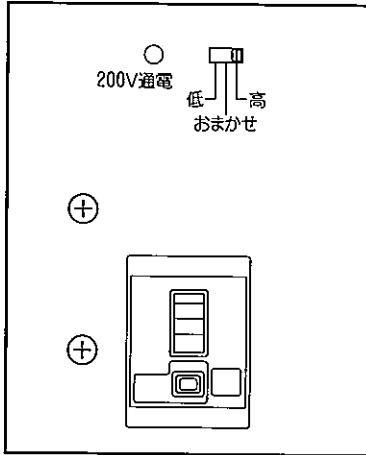


操作部のカバーは開ける

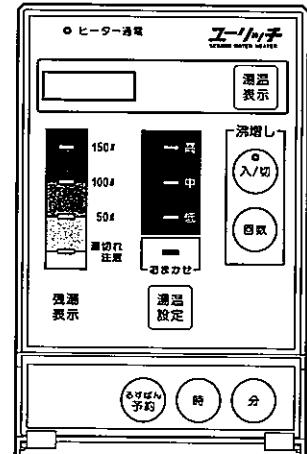
注 時間帯別料金対応型には、深夜電力ランプはありません。

最初の試運転時以外は、2つのランプが同時に点灯しないことがあります。

通電制御型



時間帯別料金対応型



5

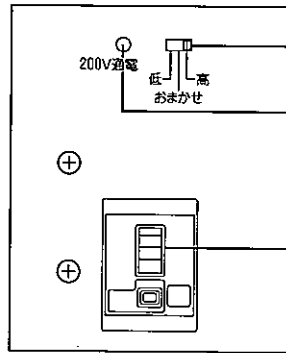
沸き上げ温度の選択は、**6 リモコンおよび本体スイッチの使い方** (12ページ)を参照してください。

6

漏電遮断器「入」、本体スイッチまたはリモコンの温度設定により、温水器はマイコンのはたらきで自動的に通電し、お湯を沸き上げます。

リモコンおよび本体スイッチのはたらき

本体スイッチ(リモコンなしの場合)



湯温設定スイッチ

- スイッチをスライドし、(高) → (おまかせ) → (低) のいずれかに設定します。設定温度のめやすは、13ページを参照してください。

通電ランプ

- 200V通電中は点滅します。ヒーターで沸き上げ中には点灯します。

漏電遮断器

- 万一本体で漏電したとき通電を止めます。

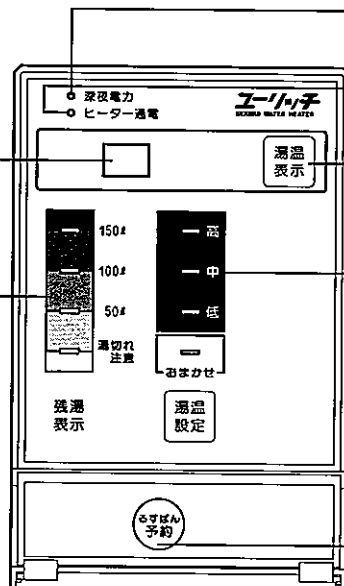
8hリモコン(別売)

モニター表示

- 湯温表示
タンク上部約50ℓ位置の温度を表示します。温度表示は、めやすです。
- 予約日数表示
るすばん予約の日数(停止日数)を表示します。
- エラーモニター表示
本体で故障がおきたとき数字 **11** ~ **99** を表示し、故障をお知らせします。(17ページ参照)

残湯表示

- ランプの点灯でタンクの残り湯量を表示します。
- 残り湯量が約50℃以上のとき点灯します。
<150ℓ> 残り湯量が約150ℓ以上のとき点灯します。
- <100ℓ> 残り湯量が約100ℓ~150ℓのとき点灯します。
- <50ℓ> 残り湯量が約50ℓ~100ℓのとき点灯します。
- <湯切れ注意> 残り湯量が約50ℓを切ったとき点滅します。



深夜電力表示

- 200V通電中は点灯します。

ヒーター通電

- ヒーターで沸き上げ中に点灯します。

湯温表示スイッチ

- スイッチを押すとタンク上部約50ℓ位置の湯温を表示します。

湯温設定スイッチと表示

- 沸き上げ湯温の設定をします。
- スイッチを押すごとに上のランプが (高) → (中) → (低) → (おまかせ) と移動します。
- ランプの点灯したところが沸き上げ温度の設定となります。
- 設定温度のめやすは13ページを参照してください。

るすばん予約スイッチ

- スイッチを押すとモニターに数字を表示し、指定した日数だけ沸き上げを停止します。

TOUリモコン(別売)

ヒーター通電

- ヒーターで沸き上げ中に点灯します。

モニター表示

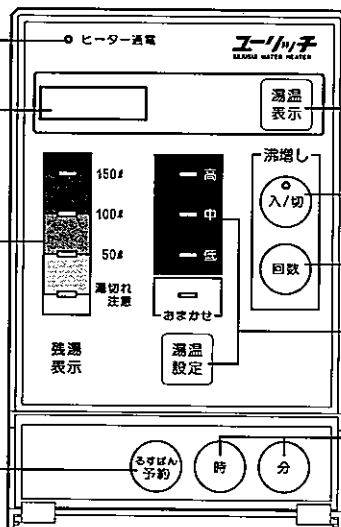
- 湯温表示。
- 予約日数表示。
- エラーモニター表示。
- 時刻表示。
現在時刻を表示します。
- 沸き増し回数表示。
沸き増しを設定したときの回数を表示します。

残湯表示

- 8hリモコンと同じです。

るすばん予約スイッチ

- 8hリモコンと同じです。



湯温表示スイッチ

- 8hリモコンと同じです。

沸き増しスイッチ

- 沸き増しの「入」「切」と回数を設定します。

湯温設定スイッチと表示

- 8hリモコンと同じです。

時刻設定スイッチ

- 現在時刻を設定します。

リモコンおよび本体スイッチの使い方

沸き上げ温度をきめます

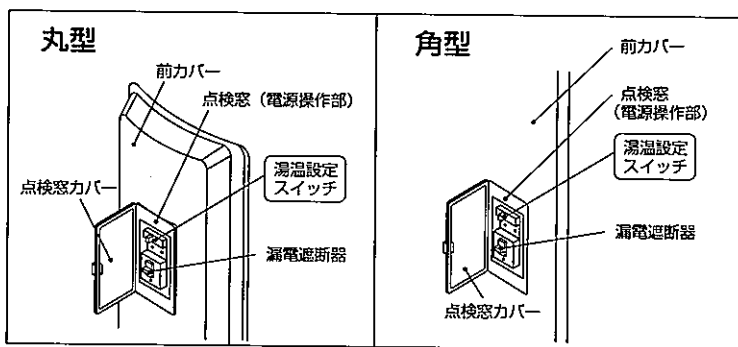
- 電気温水器(マイコン型)は、お湯の使用量と水の温度(給水温度)に合わせて経済的にお湯を沸かします。
 (残湯表示モニター) ランプと湯温を見て、沸き上げ温度を決めてください。
- 毎日の運転は (おまかせ) スイッチで行ないますと、経済的な沸き上げができます。
- 太陽熱温水器(ソーラーシステム)と併用で使用される場合は、沸き上げ設定スイッチは (おまかせ) 以外でご使用ください。

リモコンなしで使用される場合の本体スイッチの沸き上げ設定

1



本体の点検窓(電源操作部)を開けます。

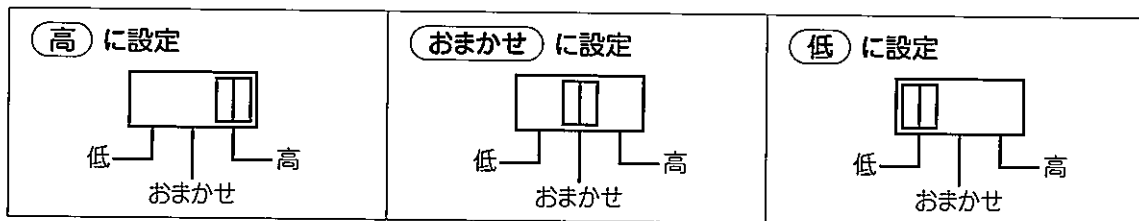


2



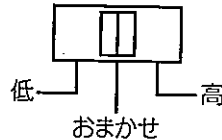
沸き上げ温度を決めます。

沸き上げ温度設定のめやすは13ページを参照してください。



8hリモコン・TOUリモコンの沸き上げ設定

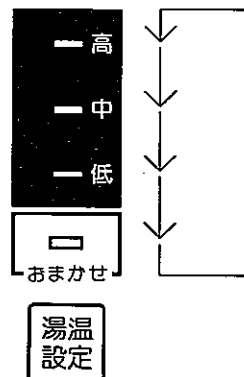
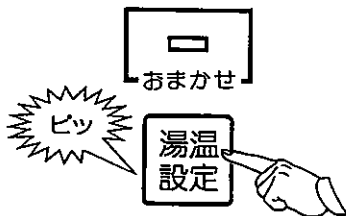
- 温水器本体の湯温設定スイッチはどここの位置でもかまいません。
 リモコンを使用するとリモコンでの設定が優先されます。



手順	スイッチの操作	表示
----	---------	----

1

湯温設定スイッチを押します。

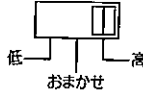




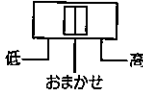
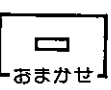


2

沸き上げ温度を決めます。

- 湯温設定スイッチを押すことに沸き上げ設定ランプが移動します。
- ランプが点灯したところが沸き上げ温度の設定となります。

沸き上げ温度設定のめやす。

リモコンなし	リモコン	沸き上げ温度	温度設定のめやす
		毎日約90℃に沸き上げます。 注 給水温度10℃以下、残湯量20ℓ未満(550ℓタイプは60ℓ未満)の場合は90℃まで沸き上がりません。	●冬・春・秋季や、たくさんお湯を使用する場合。
中はありません		約75℃に沸き上げます。	●春・秋の中間期(高)で100ℓ～150ℓ以上残湯量がある場合。
		約60℃に沸き上げます。	●夏季など使用湯量の少ないとき。
		タンクの残り湯量をみながらマイコンが沸き上げ温度をコントロールします。	●突発的に多量のお湯を使用しない限り、残り湯が約50ℓ～100ℓ程度になるように運転をします。 ●年間を通して電気代の節約ができます。

※おまかせ運転をしていて他の設定(高・中・低)に変更した後、次のおまかせ運転をする時はスタート(約90℃沸き上げ)から始まります。



残湯表示と使用可能湯量について

- 残湯量の表示とあとどれだけお湯が使えるかは、そのときの湯温と水温によって変わります。
- 季節によって残湯量をみながら、沸き上げ温度を設定してください。
- おまかせ設定にしてあげば上記を加味して自動運転します。
- 使用可能湯量のめやす(45℃換算)特に残湯量50ℓ以下の場合、ご注意ください。

残湯量表示	冬期		中間期		夏期		45℃の湯	
	水温	5℃	10℃	15℃	20℃	20℃		25℃
	湯温	90℃		75℃		60℃		
150ℓ (110ℓ)	→	320ℓ	345ℓ	300ℓ	330ℓ	240ℓ	260ℓ	
100ℓ (80ℓ)	→	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	ℓ	
50ℓ	→	215ℓ	230ℓ	200ℓ	220ℓ	160ℓ	175ℓ	
湯切れ注意	→	106ℓ以下	115ℓ以下	100ℓ以下	110ℓ以下	80ℓ以下	90ℓ以下	

るすばん予約の日数設定(8hリモコン・TOUリモコン使用の場合)


- 外出等で、電気温水器の沸き上げを停止させるときにつかいます。

手順	スイッチの操作	表示
1 沸き上げ停止日数を設定します。	 <ul style="list-style-type: none"> ●日数がいきすぎた場合、スイッチを繰返し押し、00の数字にもどしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを押すごとに日数が変わります。 

2
 るすばん予約のしかた
 停止日数の設定のしかた

- 出発の当日に設定する場合
 宿泊日数を設定します。……………3泊であれば → **3**
- 出発の前日午後11時前に設定する場合
 宿泊日数+1を設定します。……………3泊であれば → **4**
 ただし、翌朝お湯を使用される時は、その時の残り湯が100ℓ以下の場合、出発当日に設定してください。
- 出発の前日午後11時以降に設定する場合
 宿泊日数を設定します。……………3泊であれば → **3**

時刻合わせをします (TOUリモコン使用の場合)

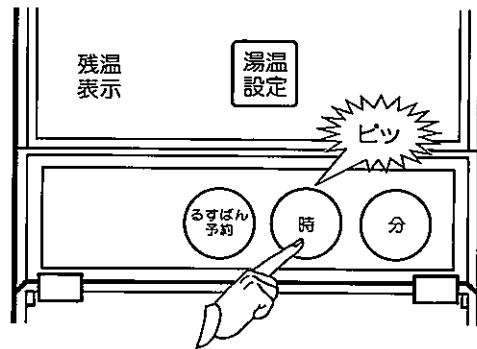
- 電気温水器の沸き上げが深夜電力時間帯 (夜11時～翌朝7時の間) に行われるように、リモコンのタイマーに現在の時刻を設定します。
- 1度時刻合わせをしますと、その後時刻合わせの必要はありませんが、停電があった場合 (10時間以上停電)、タイマーの記憶が消えることがあります。
その時はモニター  (時刻表示が点滅) が表示されますので、時刻合わせをしてください。
- 時刻がズレていると、湯量が不足したり思わぬ電気料金がかかることがありますので、現在時刻を正しく合わせてください。

手順	スイッチの操作	表示
----	---------	----

1

リモコンの下部のフタを開けます。

現在時刻「時」を合わせます。

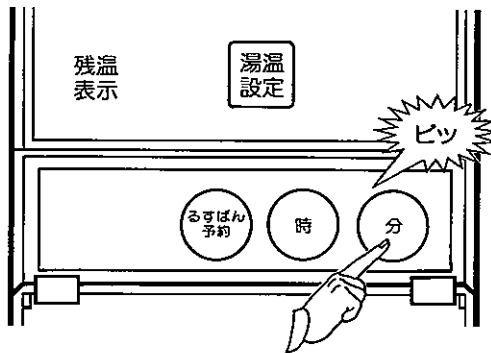


●午後1時の場合

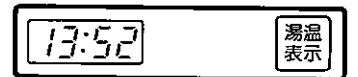


2

現在時刻「分」を合わせます。



●午後1時52分の場合



3

時刻合わせの完了

- 「時」「分」を合わせ、モニター部の表示と現在時刻が合えば完了です。

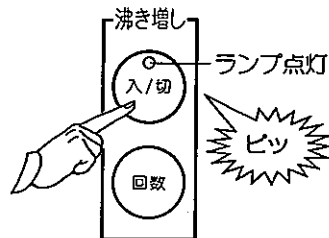
沸き増しをします (TOUリモコン使用の場合)

- お湯を多量に使う場合 (盆・暮の大掃除、来客、2回風呂など) 昼間電力を使って沸き増しをします。
- 1度沸き増しを設定すると、毎日沸き増しをしますので、不必要な場合は沸き増しスイッチを「切」にしてください。 不必要な沸き増しを続けると電気代が高くなります。
- 残り湯が少なくなってきたからの沸き増しは、沸き上げ時間が長くなりますので、早めに沸き増しスイッチを押してください。

手順	スイッチの操作	表示
----	---------	----

1

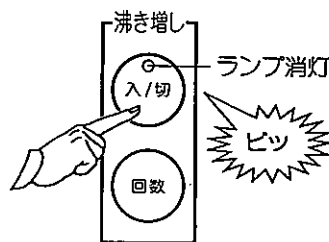
沸き増し (入/切) スイッチを押します。



- スイッチ「入」のときランプが点灯します。

2

再度沸き増し (入/切) スイッチを押すと「切」になります。

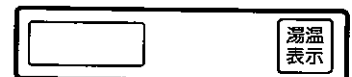
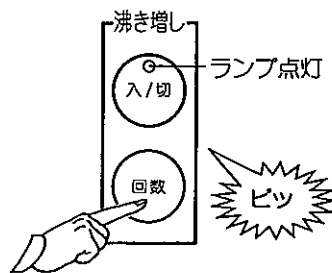


注 沸き増ししない場合は必ず「切」にしてください。

3

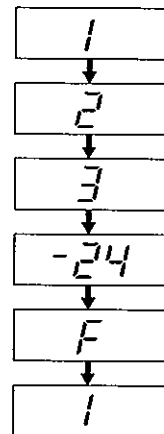
沸き増し (回数) スイッチを押します。

- (回数) スイッチを1回押しごとに沸き増し回数がふえます。



時計表示が消えます。

モニター表示



●沸き増し回数の説明

1 ... 1日1回沸き上げ設定温度まで沸き増しします。

2 ... 1日2回沸き上げ設定温度まで沸き増しします。

3 ... 1日3回沸き上げ設定温度まで沸き増しします。

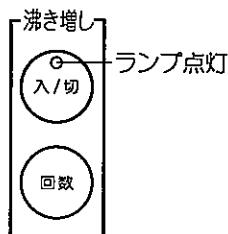
-24 ... 1日(24時間)だけ何回でも沸き増ししその後、沸き増しが「切」になります。

F ... 1日何回でも沸き上げ設定温度まで沸き増しします。

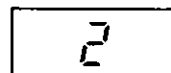
4

沸き増し回数設定の完了

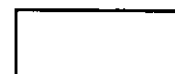
- 必要な沸き増し回数でスイッチから手をはなします。
- モニター表示の数字が約1秒で消え設定完了します。



モニター表示



- 沸き増し回数2回設定の場合



約1秒後に消える
(時計表示になります)

沸き増しの上手な使い方 (TOUリモコン使用の場合)

- 昼間電力を使って電気温水器の沸き増しをすることにより、通常より多く湯量が使えることになります。貯湯式であるため、短い時間ですぐ沸き上げということは出来ませんので、あらかじめお湯をたくさん使うことがわかっていたら、早めにリモコンで(沸き増し)のスイッチを入れておく必要があります。

1 タンク沸き増し回数設定のめやす

沸き増し回数設定	お湯を使われるパターン			沸き増し
	朝	昼	夜	
1	朝風呂、朝シャワーなど、多量に使う	台所で少し使う程度	風呂、シャワーなどに使う	朝方使った分を1回沸き増しします
2	朝風呂、朝シャワーなど、多量に使う	シャワーなどでよく使う	風呂、シャワーなどに使う	朝方と昼2回沸き増しします
3	朝から昼にかけて断続的によく使う	昼から夕方にかけて断続的によく使う	風呂、シャワーなどに使う	朝～昼～夜3回沸き増しします
-24	設置直後または、1日だけ多量にお湯を使う			使った分沸き増しします(24時間後は切り)
F	盆、暮れ、来客などで1日中よくお湯を使う			使った分毎回沸き増しします

2 沸き増し設定は、朝方にしてください。

- 沸き増しスイッチを押して回数を設定する。出来るだけお湯を多量に使う夕方の5時間位前までに設定してください。
- タンクが完全に沸き上がるまでは、お湯の使用を出来るだけおさえてください。

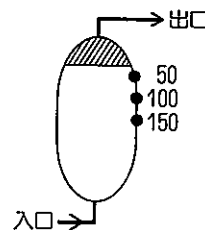
沸き増しのしくみ (TOUリモコン使用の場合)

- この電気温水器は深夜電力のみでなく、昼間電力を使ってお湯を沸かすことができます。しくみをよく理解していただき、正しくお使いください。

- ### 1
- 深夜電力とは夜11時から翌朝7時までに使用する電気のことをいい、昼間電力はそれ以外の時間に使用する電気のことをいいます。
沸き増しは昼間電力を使って行ないます。昼間電力は深夜電力に比べて、単位当たりの電力料金が高くなりますので、必要な時のみ沸き増しを設定してください。

2 残湯表示と湯量

- この電気温水器の残湯表示は右図の位置の温度が50℃以上の場合、点灯します。もし50のランプが消えたらタンクの上まで水になったこととなります。
- 水とタンクの湯(80℃以上)を混合して使う場合、タンク湯量の2倍使える勘定となります。



使用場所での必要な湯量	必要な残り湯
浴槽…1.5人用で約200ℓ(45℃)	100ℓ以上(湯温85℃ 水温5℃)
シャワー…1人当り約50~70ℓ(45℃)	50ℓ以上(湯温85℃ 水温5℃)

3 残湯表示と沸き増し所要時間 (AKタイプの場合は所要時間が長くなります。)

残湯表示	冬場水温5℃で出口温度が50℃になるまでの時間
50ℓ以下の場合	約4時間半必要
100ℓ以下の場合	約2時間半必要

エラーモニターの表示と内容(リモコン使用の場合)



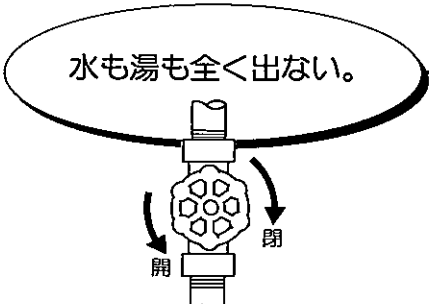




この温水器は、不具合を生じたとき下記の表示をします。内容によってサービス店の点検修理が必要です。
株式会社 コロナまたはサービス店へご連絡ください。

表 示	内 容	処 置
	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間(約2日間)停電があった場合。 ●設置してすぐの場合。 	<ul style="list-style-type: none"> ●沸き上げ温度の設定をしなおしてください。(12ページ参照)
	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間(約2日間)停電があった場合。 ●ただし 23:00 から時計は進みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●沸き上げ温度の設定をしなおしてください。 ●時刻合わせをしてください。(14ページ参照) ※TOUリモコンのみ。
	<ul style="list-style-type: none"> ●深夜沸き上げ中に2時間以上の停電があった場合。 <p>その日の湯温が低いことがあります。翌日は通常に沸き上げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●湯温表示スイッチを押して表示を消してください。 ※TOUリモコンのみ。
	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯センサーの故障のとき。(断線) ●沸き上げはします。 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●残湯センサーの故障のとき。(短絡) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●92℃以上の沸き上げをしたとき。 <p>数時間で消えます。そのまま運転してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●連続して表示する場合は、(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●24時間200V未通電。 ●200V通電で消えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●制御センサーの故障のとき。(断線) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●制御センサーの故障のとき。(短絡) 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●タンク沸き上げ中にお湯を使用している。 ●沸き上げはしているが温度が低すぎる。 <p>その日の湯温が低いことがあります。翌日は通常に沸き上げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●タンク沸上中にお湯を使用すると 99 表示することがありますが、沸き上がり後、消えれば正常です。 ●99 表示が消えない場合は、(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンケーブルの断線など。 	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)コロナまたはサービス店へご連絡ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●空焚き検知。 	<ul style="list-style-type: none"> ●約15分後に給水してタンクを満水にして、基板のリセットスイッチを押してください。

調子がおかしいとき (修理を依頼される前に)

つぎのようなときは、故障でないこともありますので、調べてください。

症 状	確認していただきたいこと	処 置
 <p>お湯が出ない。 水が出てくる。</p>	配線用遮断器が「入」になっていますか。	 <p>遮断器を「入」にしてください。</p>
	漏電遮断器が「入」になっていませんか。 激しい雷などで切れることがあります。	
	リモコンにエラーモニターが表示されていませんか。	モニター表示を参考にしてください。そのまま通電できるものもあります。
 <p>水も湯も全く出ない。</p>	止水栓が閉っていませんか。	止水栓を開けてください。
	冬期、配管などが凍結していませんか。	解凍を待ってください。 今後は販工店に凍結防止工事をご相談ください。
 <p>お湯の量が不足する。</p>	給湯せんからお湯漏れしていませんか。	給湯せんはしっかり閉めてください。
	逃し弁の排水管・タンク付属逃し弁から水漏れしていませんか。	  <p>逃し弁のレバーを2~3回上げ下げしてみてください。止まらないときは、止水栓を閉めて(株)コロナへご連絡ください。</p>
	湯温の設定が(低)になっていませんか。	
 <p>お湯の出方が少ない。</p>	減圧弁・逆止弁のストレーナーにごみが詰っていませんか。	ストレーナーの洗浄をしてください。(株)コロナへご連絡ください。(減圧弁などの水抜き栓の漏れはしっかり閉めてください。)

症 状	確認していただきたいこと	処 置
-----	--------------	-----

沸き上げ温度が低い。

冬期水温が低いとき(10℃以下)で残湯量が少ないとき(20ℓ以下)の場合90℃に沸き上がりません。

深夜電力の通電中にお湯を使用していませんか。

効率良くご使用ください。

お湯が白く濁って見える。

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、全く無害なものです。

電気料金が高い。

逃し弁の排水管から水漏れしていませんか。

逃し弁のレバーを2~3回上げ下げしてみてください。止まらないときは、止水栓を閉めて(株)コロナへご連絡ください。

沸き増しスイッチの切り忘れはないですか。
※TOUリモコンのみ。

沸き増しスイッチを「切」にする。

沸き増し回数が多くないですか。
※TOUリモコンのみ。

沸き増しを少なくする。

熱湯注意 逃し弁の点検

沸き増ししても湯が少ない。

朝昼の使用量が少なく夕方から沸き増ししている。
※TOUリモコンのみ。

朝昼の使用量が少ないと沸き増しが間に合わないことがあります。

沸き増しスイッチの入れる時刻が遅くないですか。
※TOUリモコンのみ。

早い時間に沸き増しする。

時計がズれる。

水晶発振器で月差50秒の精度です。
※TOUリモコンのみ。







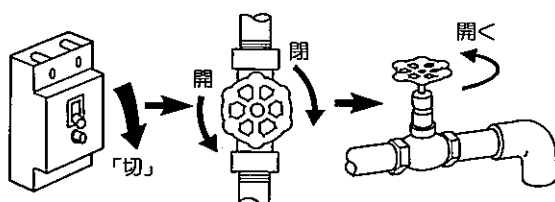
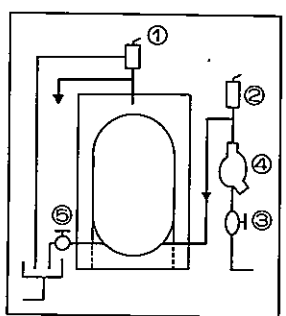
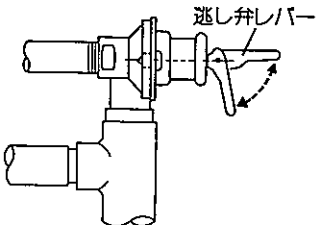


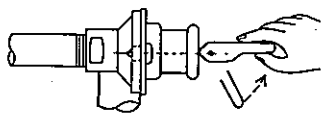
時刻合わせをしてください。

8 お手入れのしかた

ふだんのご使用に際しては、手間いらずの電気温水器ですが、いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。つぎの点検ポイントをご参考に、じょうずなお手入れをしてください。

点検のためのポイント

タンク清掃	タンク内には、長時間使用すると水あかなどがたまります。
逃し弁の作動	逃し弁にゴミが詰まってお湯が漏れると湯量不足になります。また湯あかが付着して作動不良になるとタンクの破損の原因になります。
漏電遮断器テスト	万一の漏電の際に正常に作動するよう点検します。

項目	時期	点検とお手入れのしかた
タンク内の清掃	年に2~3回	<p>  前面カバーは開けない  操作部のカバーは閉じる  逃し弁の点検  熱湯注意  熱湯排水しない  湯水で遊泳する </p> <p> (1)漏電遮断器を切ります。(200V) (2)止水栓③を閉じます。 (3)排水栓⑤を開けます。 </p>   <p> (4)逃し弁①のレバーを上にあげてタンクに空気が入るようにして、1~2分排水してください。 注お湯がでることがありますので、やけどに注意してください。 (5)バケツ一杯程度出して水がきれいになったら、排水栓を閉じ、逃し弁を元にもどしてタンクを満水にしてください。 (6)給湯せんから湯または水が出たら満水です。給湯せんを閉じ、漏電遮断器を「入」にしてください。(200V) ※3年に1回程度はタンクの水を全量排水し、タンク中の清掃をしてください。 </p> 
漏電遮断器のテスト	年に2~3回	<p>  漏電遮断器の動作確認 </p> <p>(1)くわしくは9ページを参照してください。</p>
逃し弁の作動テスト	年に2~3回	<p>  逃し弁の点検 </p> <p> (1)逃し弁のレバーを上げて排水操作をくり返して、水あかやゴミなどを洗い流してください。 (2)操作後は、逃し弁のレバーを元に戻して排水が止まることを確認してください。 注逃し弁は上図①②ともテストしてください。 </p> 
ストレーナーの清掃	必要時	<p>お湯の出が悪くなったとき、そのつどストレーナーを清掃してください。(株)コロナへご連絡ください) (減圧弁④についています)</p> <p> (1)止水栓③を閉じます。 (2)ストレーナーのフタをはずし、中のあみを水で洗ってください。 注ストレーナーをはずすとき2~3ℓの水が出ますからバケツなどで受けてください。 (3)元通りに組込んでください。 (4)止水栓③を開けてください。 </p>
配管の点検	年に2~3回	<p> (1)配管保温材の破損や配管・弁類からの水漏れがないか。 (2)排水トラップからオーバーフローしてないか、タンク付属逃し弁から水漏れしていないか、異常のある場合は工事店へ修理を依頼してください。 </p>

9 保証とサービスについて

1

保証書について

必ず「販売店(工事店)」「据付日」などをご確認のうえ、保証内容をよくお読みいただき大切に保存してください。

2

保証内容について

- 保証期間は据付日から2年間です。(タンク5年、ヒーター3年)
- 正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の記載事項にもとづき「無償修理」いたします。
- 無償期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

3



分解禁止

点検と修理について

- 少しでもご不審の点がありましたら、販売店または株式会社 コロナに点検・修理を依頼してください。
- 本品をより長くご使用いただくため、据付後定期的な点検をご依頼ください。

4

補修用部品の最低保有期間について

- 当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後最低7年間(BL品は10年)保有しています。なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5

部品の交換時期のめやす

- 温水器の部品の寿命は、沸き上がり温度、水質など使用する条件によってかわりますが、一般的な交換時期のめやすを参考にしてください。

部 品 名	補修時期のめやす	部 品 名	補 修 の 必 要 性
ヒーター	5~8年	交換	水中の塩素などによってサビが発生し、強度が低下したり穴があいたりすることがあります。
フランジパッキン	5~8年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少しシール性がなくなったりゆるんだりします。また弁類は水中のスケールによって水もれしたり動かなくなったりすることがあります。
逃し弁	3~5年	交換	
減圧弁	5~8年	交換	
配管保温材	3~5年	補修	太陽の紫外線によって劣化することがあります。
温度過昇防止器	5~8年	交換	長期間の使用により、金属疲労が生じ接触部が損耗することがあります。
温度調節器	5~8年	交換	
電磁接触器(リレー)	5~8年	交換	水中のスケールやゴミが付着し水もれしたり動かなくなったりすることがあります。
タンクの逃し弁 (丸型のみ)	3~5年	交換	

通電制御 / 時間帯別料金対応 兼用型

型 式	丸 型			角 型	
	MS-30M88K-C	MS-37M88K-C	MS-46M88K-C	KS-37M88K-C	KS-46M88K-C
タンク容量	300ℓ	370ℓ	460ℓ	370ℓ	460ℓ
定 格	発熱体単相200V	3.4kw	4.4kw	5.4kw	5.4kw
	制御用単相200V	4w	4w	4w	4w
	(制御用単相100V)	(4w)	(4w)	(4w)	(4w)
沸き上がり温度	約60℃～約90℃				
重 量 (満水時)	48(348kg)	55(425kg)	61(521)kg	67(437)kg	75(535)kg
外 形 寸 法	巾	669mm	669mm	722mm	700mm
	奥行	708mm	708mm	760mm	800mm
	高さ	1476mm	1745mm	1819mm	1690mm
安 全 装 置	漏電遮断器、温度過昇防止器、温度調節器・空焚き防止機能				
温 度 検 知	サーミスタ検知・マイコン制御				
発 熱 体	シーズヒーター				
配 管 口 径	給水・給湯 3/4				
設 置 場 所	屋外・屋内兼用				
(別売部品)	8hリモコン・TOUリモコン (外形寸法・100×155×22)				

製造元 株式会社 **JO+**

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7 TEL (0256) 32-2111 (大代表)

●アフターサービスなどのお問い合わせは  **0120-917-567** (365日24時間受付)